

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

横浜市芹が谷地域ケアプラザ

■ 事業報告

1 全事業共通

地域の現状と課題について

- ・ 港南区北部に位置しており、谷をバス道が通り両側が山となった山坂のある地形です。担当包括エリア内の総人口は 16,988 人、そのうち 65 歳以上は 5,185 人であり、昨年に引き続き総人口は減り 65 歳以上人口は増えています。
- ・ 特に芹が谷 3 丁目は高齢化率 37.1%と高く、担当包括エリアの平均高齢化率は 31.3%となっています。
- ・ 担当する 2 地区共、山坂の起伏が激しく谷を通るバスに乗るにも、高齢になると足の衰えにより困難になりやすく、閉じこもる方々が多くなります。移動問題と気軽に集える場を確保する必要があります。「助けて」と声に出して言える「隣三軒両隣」の関係のある地区と、ぎりぎりまで人の助けを借りずに自分で頑張る方々が多い地区など、見守り・支えあいは地区により特徴があります。その地区にあったニーズの把握が必要です。
- ・ 担当する包括エリアは、医院の数が少ないことから、主治医は大病院である場合が多いため、急な体調変化に困るケースが発生しています。昨年、地域内で新たな訪問医療も開院され、より地域医療機関と繋がりが重要です。
- ・ 認知症の発症者も増えていますので、周囲の方々の認知症という病気への理解や対応をさらに広めていく必要があります。

(1) 相談（高齢者・こども・障害者分野等の情報提供）

- ・ 芹が谷町内会エリアの住民支えあいマップが完了し、改めて民生委員を中心に振り返りを行いました。民生委員が気になるケースや、関わりが薄く、見えていなかったケースを重点的に確認し、必要に応じて包括支援センター連携のもと、訪問を行なっています。
- ・ 新たに、浩南台町内会エリアで、区社協と連携し住民支えあいマップを行いました。役員だけでなく、近隣の方が参加した事で、新たな課題の把握や、地域で見守りを進める機運も高まっています。
- ・ 子育て世代向けの事業数を 2⇒4 に増やしたことで、若い世代の利用が増え、子育てに関する相談も増えて来ました。発達に関して相談がありました。5 職種でスムーズに共有し、看護師と連携しながら、適切にアドバイスを行ないました。継続的に安心して事業に参加頂いています。
- ・ 所長、5 職種、居宅ケアマネジャー含め、全体で連携して相談対応できる体制を整えています。また、相談票を活用し、5 職種で情報共有した事で、継続相談に対しても切れ目なく対応出来ています。
- ・ 様々な相談を受け止めることができるように、「県立精神医療センター作業療法士対象のケアプラザへの年間研修」を受入れました。地域連携室とのつながりがより深まり、認知症状の受診相談や中核症状の相談を繋ぐことができました。また、精神医療センターと地域が繋がれるよう支援し、顔の見える関係が構築出来ました。

(2) 各事業の連携

- ・ 芹が谷小学校の福祉教育として、5年生を対象に認知症サポート養成講座を行いました。5職種で連携して開催し、事例を交えて、小学生のも出来る事を主体的に考える場になりました。
- ・ 見守り協力事業者を生活支援コーディネーター中心に、5職種と町内会長と一緒に訪問を行ないました。商店と顔の見える関係づくりが出来たことにより、気になるお客さんについての情報提供、相談に繋がりました。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ・ 今年度は、包括が医師会、弁護士会にて『包括支援センターの取組』についての講師を、生活支援コーディネーターが横浜市医療・福祉研究発表会にて『永谷地区福祉連絡会』について発表、また、しゃべっc i a oのケアプラザ代表として参画し各職員のレベルアップにつなげました。
- ・ 法人人事制度改正に向けて、月2回検討会議へ参画しました。評価チェックリストを新たに使用し、法人のビジョンに添った取組みが出来ているかを「見える化」をすることを目指して仕組作りを行っています。
- ・ 公正・中立性を確保するために職員会議等で、全員が同じ対応が出来ているかの確認をしました。
- ・ 年2回の防災訓練時に、災害時の職員体制について確認・見直しを行いました。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・ 芹が谷地区の支えあいネットワークの場を活用して、地域の方々を中心に、芹が谷ひまわりプランの振り返りを行いました。地域が主体となって行ったことにより、芹が谷ひまわりプランを自分事として捉え、これまでの活動の見直し、4年目・5年目、4期に向け、必要な取り組みについて検討するきっかけになりました。
- ・ 永谷地区は、昨年度出されたアイディア（あいさつ運動やみんなのマップ等）の実現に向けて、地域が主体的に検討出来るよう、支援チームで連携して支援する事が出来ました。改めて地域と学校の関係構築が進み、地域と学校で連携して、挨拶運動を共同開催出来るよう検討が始まっています。
- ・ 定期的に永谷地区、芹が谷地区の支援チーム会議を開催し、これまで以上に支援チームの連携構築が出来ました。地域支援方針を共有し、同じ視点で関わりを持つ事が出来ました。
- ・ 生活支援コーディネーターと連携し、地域が主体となって、永谷地区福祉施設連絡会を開催しました。支援チームの関係構築が出来ていた事、事務局の立ち上げから企画会、開催までスムーズに進める事が出来ました。地域と施設、施設同士、ケアプラザと施設それぞれ新たなネットワーク構築に繋がりました。

(5) 区行政との協働

- ・ 毎月開催した支援チーム会議などを活用して、地域福祉保健計画の推進や地域の取り組み、現状などについて共有しました。
- ・ 港南区地域福祉保健計画の推進と3か年目の振り返りを行いました。振り返りで出た課題を、区役所や区社協、他ケアプラザと連携し、買い物支援などの具体化に向けて動き始めています。
- ・ 毎月、包括カンファレンスを開催しました。個別ケースを共有し、専門性の高い支援を検討、実践しました。また早急な対応が必要と判断された際には、区と同行し迅速に対応し、未然に防ぐことができました。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- ・ これまで関わりの少なかった若い世代（パパ世代）にケアプラザの理解と関わりのきっかけ作りを目的とした事業「プラレールの部屋」を行いました。初めての来館される方も多く、口コミで互いに誘い合い、参加されています。
- ・ 芹が谷地区福祉保健計画の一環である「認知症への理解」を推進する為、認知症サポーター養成講座を町内会館で2回、ケアプラザで1回、小学校（5年生対象）で1回行いました。寸劇を交えて実際に対応してみる等、参加型のプログラムで自分事として考えられるよう工夫しました。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・ 貸館団体の活動発表の場として団体発表会を開催しました。今年度から進行や会場設営などを団体が行い、活動団体のモチベーション向上と、新たな参加者の取り込みに繋がりました。
- ・ 団体同士の繋がりとケアプラザの役割周知を目的に、貸館団体交流会/大掃除を開催しました。団体間で新たな参加者の募集や、講師の交流を図る等、繋がりのきっかけになりました。また、福祉避難所、包括支援センター周知を行い、理解が広がりました。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・ 昨年から活動している「子ども食堂スナップえんどう」を地域と繋げることが出来ました。1年間活動したことと、支援し続けたことで地域に認められました。
- ・ よこはまシニアボランティアポイント研修会を開催し、新たに12名の登録がありました。自主事業のボランティア活動の他、永谷地区たすけあい広場に登録する等、担い手確保に繋がりました。
- ・ 地域の作業所のお祭り出店の他、芹が谷南小学校夢教室のPC講師、芹が谷小学校の個別支援級見守り活動等、新たなボランティア活動の場を開拓しました。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・ 生活支援体制整備事業の情報ラックを設け、情報提供を行いました。生活支援体制整備の情報の他、地域活動情報等を配架し、活動相談等に活用しています。
- ・ 新たに包括支援センターの掲示スペースを設置しました。問い合わせの多かった介護保険申請手続きや、包括支援センターのQA等を中心に情報提供し、気軽に閲覧できるよう工夫しました。
- ・ 貸館団体の紹介冊子と紹介ポスターを作成しました。団体同士の情報交換のツールの他、相談時に活用が出来ました。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- ・ 地域で体操教室やボランティア活動を行っている団体との関係構築及び、地域情報や活動の課題等について活動へ訪問し、ヒアリングを進め、収集した情報を、毎月5職種会議で共有し、連携して支援を行ないました。
- ・ 地域と連携し、東永谷/下永谷ケアプラザ、区役所、区社協、エリア内の福祉施設間の調整を丁寧に行い、『福祉施設連絡会』を開催する事が出来ました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・ 5職種で連携して地域活動等へ訪問し、ヒアリング等を通じて情報収集を行いました。得た情報を整理し、アセスメントシートの更新を行いました。定期的に5職種会議等で共有し、支援方針の確認等を行っています。
- ・ 日頃から支援チームの良好な関係が構築出来ていた事で、情報共有をスムーズに行う事が出来、「永谷地区福祉施設連絡会」を開催する事が出来ました。また、連絡会を開催した事で、地域の施設に対する思いや、福祉施設が感じる地域課題等を共有する事が出来、新たな取り組みの検討に繋がりました。

(3) 連携・協議の場

- ・ 地区社協からの相談をきっかけに、「永谷地区福祉施設連絡会」立ち上げに向けた、協議体を開催しました。区役所、区社協、東永谷CP、下永谷CP間の調整を行い、関係機関で連携を取って支援する事が出来ています。また、事前に各施設へアンケートを実施し、地域で活動する上での困り事や、地域貢献の取り組み等を知る事が出来、新たなニーズ把握、情報収集に繋がりました。神奈川新聞にも掲載され、取り組みが広がっています。
- ・ 買い物支援について、地域が主体となって、スーパー等と調整をしていましたが、改めてニーズ調査と実施可能サービスの調整を行い、「出張販売」について検討が始まりました。たすけあい広場定例会等で検討を進めています。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・ 区生活支援連絡会や支援チーム会議等で得た情報を地域へ積極的に情報提供しました。「出張販売」に関する情報を得て、地域で検討が始まっています。
- ・ 港南区福祉保健計画の担当として、しゃべっCiaoの開催、振り返りの方法の検討等協力しました。しゃべっCiaoは、子ども達の参加もあり、これまでになかった視点で福祉保健計画について改めて考える場になったかと思えます。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

- ・ ひとり暮らし高齢者の生活をテーマとした地域ケア会議を開催し、ケアマネジャー、地域支援者、医師や作業療法士、訪問看護師、薬剤師や管理栄養士など様々な分野の専門家によるネットワークの構築をすすめていくことができました。
- ・ 港南区医師会や横浜市弁護士会の研修において、地域包括支援センターの役割についての講演を行うことで、幅広い専門家とのネットワークの構築、地域における支援力の強化を図りました。

②実態把握

- ・ 日々の相談や区からのデータ、地域との聞き取りの結果から、ひとり暮らしで犬などのペットを飼育されている方の割合が多くなっていることを確認し、地域ケア会議の実施につなげました。
- ・ 協力医事業や病院を持つ法人の強みを活かした自助のための啓発を目的とした講演会を実施、3月には普段は参加されないような方の来所を目的とした健康フェスタを開催し、啓発を拡げていきます。

③総合相談支援

- ・ 3職種と地域活動交流コーディネーター、生活支援コーディネーターと情報共有とアウトリーチを行ってきた結果、高齢者施設だけでなく障害者施設のやまゆり園とフラワーロードからも相談が寄せられるようになりました。
- ・ 来所の初回インテークで相談者の見立てと、こちらの見立てが病状や介護の必要性、緊急度等で、かい離があると判断した時は状況確認の為に訪問しています。その結果緊急度高い方の早期対応に繋がっています。

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・ 芹が谷圏域では消費者被害の報告が多く、予防の為に消費者センターの講師を招き、消費者被害の予防講座をケアプラザで行いました。
- ・ 県立精神医療センターの医師を講師に精神の病気の差別や偏見を減らす目的で「うつ病とその理解について」の講座を行いました。

②高齢者虐待への対応

- ・ 初回のアセスメント(家族の介護力、本人の能力や経済状況)で将来、虐待や支援が難しくなると判断した時に、初期段階から区役所の地区担当に情報共有や認定調査をお願いし、介入を行いました。その結果、ケアマネジャーの支援が入りやすい体制づくりが行えました。
- ・ セルフネグレクト状態の方を区の地区担当職員と交互に見守りを行い、区の地区担当職員が医療に繋げる後方支援を行いました。

③認知症

- ・ 今年度は芹が谷ケアプラザ圏域でキャラバンメイトを5人育成し、認知症サポーター養成講座をケアプラザ職員とともに開催しました。
- ・ 地域の小学校や地域住民との連携により「認知症サポーター養成講座」を多くの方が参加することができるように、芹が谷小学校で1回、地域の町内会館で2回、芹が谷地域ケアプラザで1回行いました。地域における認知症理解および認知症になっても暮らし続けていくことのできる町づくりの普及啓発を行いました。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・ 地区社会福祉協議会と合同で行った住民支え合いマップをもとに、ひとり暮らしの方の生活を課題とした地域ケア会議を実施することで、ケアマネジャーが暮らしに中心を置いた関わりを持てるように支援を行いました。
- ・ 年間2回の協力医・精神医療センター・認知症看護認定看護師による講演会を実施。健康な生活を維持、そして、認知症や精神疾患のある方が暮らし続けることができる町づくりの啓発を行いました。

②医療・介護の連携推進支援

- ・ ケアプラザエリア内や近隣の訪問診療医（みらい在宅クリニック港南・大倉クリニック）との顔の見える関係性づくりをすすめ、受診が難しい芹が谷地域での在宅医療における支援力の向上を図りました。
- ・ ひとり暮らしへの支援を考える地域ケア会議の場で、医師・薬剤師・作業療法士と福祉職が意見交換を行うことで、支援体制の構築とそれぞれの対応力の強化に努めました。

③ケアマネジャー支援

- ・ 緊急性のある虐待ケースに対して、ケアマネジャー・行政・医師・包括で連携し、チームでのアプローチを行うことでリスクの段階から対応し、家族への支援も合わせてすすめていくことができました。
- ・ 地域のひとりケアマネジャーに対して、医師などの医療職が参加する中で、事例検討や地域ケア会議への参加をすすめ、支援力の強化とバーンアウトの予防に努めました。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・ 住民支え合いマップなどの地域との意見交換や、ケアプラザへの相談実績から地域における課題を抽出し、ひとり暮らし高齢者の服薬管理やペットとの暮らし方などをテーマに地域ケア会議を実施しました。
- ・ 生活支援コーディネーターとの連携の中から地域とのつながりを持ち、新たな取り組みとして「永谷地区福祉施設連絡会」を開催しました。地域支援者や福祉施設それぞれが強みを活かせるように、地域と施設とが顔の見える関係となるように支援を行いました。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・ 要支援の認定を受けた方も、地域の一員として自立した生活が取り戻せるように、介護保険サービスだけでなく、福祉ネットワークなどの地域の資源を活用することで、地域との関わりが途切れないような対応を委託しているケアマネジャーに対して、支援と情報提供を実施しました。
- ・ 福祉ネットワークによる日常の支援や、せりがや虹の会による居場所・認知症予防の場をプランに組み込むことができるように、支援者との意見交換を行うとともに、ケアマネジャーへの情報提供を行いました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

- ・ 介護予防教室「輝く明日を目指して」を芹が谷ケアプラザで1コース(4回)、連合町内会未加入の上大岡セントラルハイツで1コース(4回)開催しました。しっかりとした運動プログラムと、口腔、栄養についての講話を取り入れ、毎回宿題形式で、日々の運動の必要性を伝えました。
- ・ パワーリハビリ機器を活用した、「芹力(きんりょく)アップ教室」を2コース開催しました。理学療法士による専門的なアドバイスのもと、5職種で連携しプログラムの運営を行いました。事業終了後は、既存のグループへ参加の他、新たなグループの立ち上げに繋がりました。

5 その他

- ・ 10月に芹が谷貸館団体発表会、2月に芹が谷ケアプラザ祭り、3月に芹が谷健康フェスタを開催しました。利用団体同士のつながりや、地域の子どものつながりづくりを行いました。健康フェスタでは法人の職員が「自分の最期を考えるACPプランニング」や「高齢者各施設の違い」を講演し、地域との関係づくりを強化しました。
- ・ 連合町内会・自治会への未連自治会へ、体操教室開催や総会でのケアプラザの紹介をすることができました。今後も情報提供や情報収集などアプローチをすすめていきます。

施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

- ・ 施設の維持として、8月に隣接している林の樹木が伸びて、建物を覆ってきたため、植栽伐採を開所以来実施したことで、施設周囲が明るくなりました。
- ・ 9月には、開所以来網戸だった飾り窓3箇所をアルミ板で風をふさぎ、施設内の温度管理が保持できるようになりました。
- ・ 館内利用者が快適に過ごしていただけるように、日々の清掃は日曜日を除く毎日行い、定期清掃では2ヶ月に1回ワックス掛けを実施しました。
- ・ 職員による定時の点検を朝・夕2回励行し、清潔の保持及び器物の破損や不具合等の確認を行いました。
- ・ 毎月第4月曜日を施設点検日には、月ごとにワックス掛けや空調設備点検及び清掃、自動ドアやエレベーターなどの保守点検を、専門業者に委託して行いました。

(2) 効率的な運営への取組について

- ・ 指定管理施設であるケアプラザとしての役割を職員全体で理解するために、毎月開催した職員会議の中で、経営状況の共有の他、今後に向けての事業検討やサービスの質の向上について意見交換を行い、適正な予算の中で効率的な運営を行いました。
- ・ コピー用紙の注文は法人が病院との利点を生かし、医療福祉施設共同組合を通すことで、定価より安価で購入することができました。
- ・ 各職員が節電や節水に取組み、ポスターでの注意喚起や使用量・料金をグラフにして「見える化」することで意識を高めることができましたが、7月・8月に関しては酷暑のため、電気使用量が上昇しました。
- ・ 資源の有効活用をする意識を持ち、節電・節水や裏紙の利用を職員会議にて定期的に伝え経費の削減に努めました。
- ・ 開所以来使用していた自転車が経年劣化のため、新たに定期メンテナンスを含めたリース契約し費用削減につながりました。

(3) 苦情受付体制について

- ・ 苦情や要望は、サービスの向上につながります。職員一同で認識し、苦情・要望の出しやすい環境づくりに努めました。
- ・ 意見箱は1階情報ラウンジの見やすい場所に設置して、いつでも記入し投函が可能なように環境を整えました。意見箱は苦情責任者が定期的に確認しています。
- ・ 運営法人の苦情解決に関する規則に則り、苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員を設置し、ラウンジにて公表しています。
- ・ 苦情があった時は、迅速に対応し思いを傾聴したうえで、今後の解決・改善策を提示し、苦情の発生から解決まで全て記録に残し、情報共有を行いました。関係部署にて会議を開催、検証し、対応を話し合いました。
- ・ 年1回、秋に事業所毎にアンケートを実施し、意見や要望を伺いました。アンケート結果と検討した対応策を掲示しました。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ 年2回、ケアプラザ圏域の防災拠点6か所との定期連絡会に参加し、情報交換や発災時の支援体制構築に努めました。
- ・ 消防署指導のもと心肺蘇生法・AED操作の講習を2月に実施し、すべての職員が急変時に対応できるように取組みました。
- ・ 地震や火災と共に、風水害、土砂崩れなど様々な災害に対するマニュアルを共有し、職員それぞれが必要な行動を取れるように訓練を実施しました。
- ・ 特別避難場所としての目的や運営の流れなど、マニュアルに沿った講習を行い、区役所との無線交信の訓練に参加や市社協高齢部会の被災状況報告訓練に参加し、交信可否を確認しました。
- ・ 出勤時や退勤時に施設内外の巡回を行い、不審物などへの対応や火災リスクの軽減を図りました。

(5) 事故防止への取組について

- ・ 館内での事故発生を防止するため日々整理整頓を行い、物品の定期点検を行いました。
- ・ 5月に外出時の事故防止のため職員研修を開催しました。車の安全指導や事故発生時の対応方法等を学び、また、エリア内道路の危険個所の確認を行い、職員全体の意識につながりました。
- ・ 感染症予防および蔓延防止のため看護師を中心とした研修を8月に行いました。
- ・ ノロウィルス対応の為、専用バケツに備品を一式入れ、取り扱いを含め職員で共有しました。
- ・ ヒヤリハット・事故報告書作成後、職員間ミーティングで情報共有し、再発防止に努めました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

- ・ 5月に職員研修を通じて、個人情報保護の意識を高め確認しチェックシートを用いて振り返りを行い、適切な取扱い方や管理方法を再確認しました。
- ・ 自主事業の参加受付などにおいては、利用目的を伝え、最低限の情報収集を実施し適切に取り扱いました。
- ・ 個人情報記載された書類などは施錠できる棚に保管し、データはパスワードロックして漏えい防止に努めました。
- ・ FAXや郵便など、個人情報を取り扱う際には、マスキングを行い、2名体制での確認を行いました。

(7) 情報公開への取組について

- ・ 地域の方々が利用する施設として運営状況や事業の日程・内容が、いつでも見ることができるよう、受付カウンターに、財務状況や運営規定・事業計画・事業報告・重要事項説明書・個人情報の取り扱いを常時閲覧できるように公開しました。
- ・ 居宅介護支援事業所は、サービス情報の公表制度を11月に訪問にて受諾しすでに結果が公表されています。
- ・ ケアプラザ広報誌は毎月発行し、自治会町内会の回覧や掲示板設置等を行いました。
- ・ ホームページをリニューアルし新たにTwitterを開設しました。事業の案内や講座の開催を更新すると、若い世代の来館者が増えました。
- ・ 1階ラウンジには、苦情の窓口や第三者委員の名前、連絡方法とともに対応フォロー図も掲示して、開かれた施設として案内しました。

(8) 人権啓発への取組について

- ・ 今年度は新たに非常勤職員4名が認知症キャラバンメイト養成講座を受けました。全職員の半分以上がキャラバンメイトとなり、認知症サポーター養成講座を地域にて3回開催しました。認知症の知識や理解を深めました。
- ・ 12月に職員向けに人権研修を行い、職員一人ひとりの人権擁護の意識を高めました。
- ・ 県立精神医療センター医師による、地域向けに「うつ病について」の講演会を行い、病気に対する偏見や差別をなくすように啓発の機会となりました。
- ・ ケアプラザ内に人権啓発と権利擁護に関するパンフレット等の配架や、ポスターの掲示を行い、館内利用者に対して啓発活動に取り組みました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

- ・ エアコンの温度調整や不要時の消灯について、職員が日々意識し節電に努めました。夏・冬のエアコン温度設定の適正化を記したポスターを館内の各部屋に貼り出し、利用者への協力を促しました。
職員は適宜消灯を実施し、毎月の省エネチェックリストにて点検を行い、節電管理が出来ているか確認しました。
- ・ 横浜市「よこはま3R夢」に基づき、ゴミの分別や少量化を行い再資源化に努めました。また、コピー用紙や封筒の再利用を積極的に行いました。
- ・ 館内利用者にはゴミの持ち帰りや不要時の消灯の協力を促しました。
- ・ ペットボトルキャップ収集を行い、途上国へのワクチン費用を贈る活動「エコキャップ回収」に協力しました。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

管理者兼主任ケアマネジャー：1名（常勤兼務）
看護師：1名（常勤兼務）
社会福祉士：1名（常勤兼務）
介護支援専門員：2名（非常勤兼務）

《目標に対する成果等》

- ・要支援の認定を受けた方も、地域の一員として自立した生活が取り戻せるように、介護保険サービスだけでなく、福祉ネットワークなどの地域の資源を活用することで、地域との関わりが途切れないような対応を委託しているケアマネジャーに対して、支援と情報提供を実施しました。
- ・福祉ネットワークによる日常の支援や、せりがや虹の会による居場所・認知症予防の場をプランに組み込むことができるように、支援者との意見交換を行うとともに、ケアマネジャーへの情報提供を行いました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 無し
-
-

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・虐待など急な対応が必要なケースについては、それぞれの担当に関わることなく動くことができるよう、逐次の情報交換を行っています。
- ・緊急対応以外においても、職員間で相談内容・困難ケース等の情報を共有し、月1回は包括ミーティングを開催し、事例検討を行うなど、職員の支援力の強化に努めています。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
150	155	156	155	159	159
10月	11月	12月	1月	2月	3月
161	154	154	153	154	155

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 : 1名 (常勤兼務)
 主任ケアマネジャー : 1名 (常勤専従)
 ケアマネジャー : 5名 (常勤専従3名、非常勤兼務2名)

《目標に対する成果等》

- ・ガン末期の利用者が自宅で生活したいとの思いを受け止め、サービス事業所と地域住民と協力してお互いが報告できるように連携し、体調変化が起こるまで本人の思いに沿った生活が継続できました。
- ・ご利用者様の意思を伺い、複数のサービス事業所の情報提供に努めました。
- ・虐待の疑いがあるケースは、サービス事業所から情報を収集すると、直ちに包括や区へ相談、報告し、同行訪問し未然に防ぐことができました。
- ・特定事業所加算を継続して取得し、今年度は他法人との事例検討会を3回参加・実施しました。そのうちの1回はケアプラザ協力医も同席し、医療の視点からの助言をいただき、新たな視点を意識することができました。
- ・介護支援専門員実務者研修受け入れを4月に3日間行い、利用者訪問や担当者会議の実践の場を経験してもらうよう準備・調整し全職員で対応しました。
- ・5月に介護者サロン事業で、介護保険制度の周知を地域に向けて行いました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●無し

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・週1回定期会議を開催し、担当不在時に他職員が対応できるように、困難事例の検討や利用者の情報共有を行いました。
- ・毎年、個人研修計画を作成し、職員の専門性の向上を目標に、研修には積極的に参加し、定期会議にて伝達研修を行い知識の向上に努めました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
139	135	138	133	147	144
10月	11月	12月	1月	2月	3月
153	152	135	132	135	136

- 通所介護・認知症対応型通所介護 **対象外**
- 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護 **対象外**

平成30年度「芹が谷地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,522,000	0	18,522,000	18,522,000	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	0	0	
自主事業収入			0	389,264	△ 389,264	
雑入	0		0	132,720	△ 132,720	
印刷代	0		0	15,400	△ 15,400	
自動販売機手数料			0	65,662	△ 65,662	
駐車場利用料金収入			0	0	0	
その他（指定管理料充当分）	0		0	51,658	△ 51,658	
その他（施設使用料相当額 法人負担分）			0	0	0	
その他（提案時控除 法人負担分）			0	0	0	
収入合計	18,522,000	0	18,522,000	19,043,984	△ 521,984	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	9,450,000	0	9,450,000	9,475,566	△ 25,566	
本俸	5,670,000		5,670,000	5,929,862	△ 259,862	
社会保険料	773,000		773,000	763,563	9,437	
手当計	2,550,000		2,550,000	2,387,525	162,475	
健康診断費	27,000		27,000	26,724	276	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	100,000		100,000	100,164	△ 164	
その他	330,000		330,000	267,728	62,272	
事務費	3,000,000	0	3,000,000	3,015,988	△ 15,988	
旅費	12,000		12,000	4,854	7,146	
消耗品費	816,000		816,000	234,560	581,440	
会議謝礼金	0		0	0	0	
印刷製本費	258,000		258,000	109,369	148,631	
通信費	997,000		997,000	730,854	266,146	
使用料及び賃借料	16,000	0	16,000	16,534	△ 534	
横浜市への支払分	16,000		16,000	16,534	△ 534	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	668,573	△ 668,573	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	25,000		25,000	29,891	△ 4,891	
職員等研修費	12,000		12,000	49,580	△ 37,580	
振込手数料	24,000		24,000	28,955	△ 4,955	
リース料	0		0	0	0	
手数料	66,000		66,000	63,746	2,254	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	774,000	0	774,000	1,079,072	△ 305,072	
事業費	692,000	0	692,000	788,304	△ 96,304	
運営協議会経費	42,000		42,000	7,348	34,652	
指定管理料充当 事業	650,000		650,000	780,956	△ 130,956	
管理費	4,624,000	0	4,624,000	4,684,646	△ 60,646	
建築物・建築設備点検		0	0	0	0	
光熱水費	940,500	0	940,500	1,354,871	△ 414,371	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	
水道料金			0	0	0	
清掃費	1,466,000		1,466,000	1,262,736	203,264	
修繕費	474,000	0	474,000	13,908	460,092	
機械警備費	197,000		197,000	196,577	423	
設備保全費	1,088,000	0	1,088,000	1,418,445	△ 330,445	
空調衛生設備保守	194,000		194,000	193,250	750	
消防設備保守	69,000		69,000	68,256	744	
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	825,000		825,000	1,156,939	△ 331,939	
共益費	0		0	0	0	
その他	458,500		458,500	438,109	20,391	
公租公課	756,000	0	756,000	758,045	△ 2,045	
事業所税			0	0	0	
消費税	756,000		756,000	758,045	△ 2,045	
印紙税			0	0	0	
その他（ ）			0	0	0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	18,522,000	0	18,522,000	18,722,549	△ 200,549	
差引	0	0	0	321,435	△ 321,435	

自主事業費収入	390,000		390,000	389,264	736	自主事業への参加料等
自主事業費支出	1,430,000		1,430,000	780,956	649,044	自主事業経費
自主事業収支	△ 1,040,000	0	△ 1,040,000	△ 391,692	△ 648,308	

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料（横浜市への支払等）
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「芹が谷地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	23,387,000	0	23,387,000	23,387,000	0	横浜市より
指定管理料（介護予防）	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,789,000		5,789,000	5,789,000	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当事業（包括）	0		0	0	0	
指定管理料充当事業（介護予防）	0		0	0	0	
指定管理料充当事業（生活支援）	0		0	0	0	
自主事業収入			0	85,986	△ 85,986	
雑入	0	0	0	78,800	△ 78,800	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	17,444	△ 17,444	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他（指定管理充当分）	0		0	61,356	△ 61,356	
その他（提案時控除 法人負担分）	2,219,000		2,219,000		2,219,000	
収入合計	31,546,000	0	31,546,000	29,491,786	2,054,214	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	28,080,000	0	28,080,000	20,661,640	7,418,360	
本俸	14,400,000		14,400,000	11,071,550	3,328,450	
社会保険料	3,327,000		3,327,000	2,456,386	870,614	
手当計	9,300,000		9,300,000	6,466,811	2,833,189	
健康診断費	13,000		13,000	6,813	6,187	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	350,000		350,000	262,356	87,644	
その他	690,000		690,000	397,724	292,276	
事務費	960,000	0	960,000	1,552,974	△ 592,974	
旅費	0		0	26,003	△ 26,003	
消耗品費	200,000		200,000	47,309	152,691	
会議随費	0		0	0	0	
印刷製本費	65,000		65,000	114,426	△ 49,426	
通信費	150,000		150,000	145,126	4,874	
使用料及び賃借料	1,000	0	1,000	4,394	△ 3,394	
横浜市への支払分	1,000		1,000	4,394	△ 3,394	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	205,727	△ 205,727	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	20,000		20,000	24,458	△ 4,458	
職員等研修費	34,000		34,000	67,297	△ 33,297	
振込手数料	24,000		24,000	29,247	△ 5,247	
リース料	0		0	0	0	
手数料	24,000		24,000	18,096	5,904	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	442,000	0	442,000	870,891	△ 428,891	
事業費	1,290,000	0	1,290,000	763,211	526,789	
協力医	630,000		630,000	273,000	357,000	
指定管理料充当事業（包括）	200,000		200,000	138,038	61,962	
指定管理料充当事業（介護予防）	151,000		151,000	157,568	△ 6,568	
指定管理料充当事業（生活支援）	309,000		309,000	194,605	114,395	
管理費	1,216,000	0	1,216,000	1,245,284	△ 29,284	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	
光熱水費	300,000	0	300,000	360,155	△ 60,155	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	
水道料金			0	0	0	
清掃費	450,000		450,000	335,664	114,336	
修繕費	126,000		126,000	3,696	122,304	
機械警備費	53,000		53,000	52,255	745	
設備保全費	161,000	0	161,000	377,055	△ 216,055	
空調衛生設備保守	52,000		52,000	51,370	630	
消防設備保守	19,000		19,000	18,144	856	
電気設備保守	0		0	0	0	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	90,000		90,000	307,541	△ 217,541	
共益費	0		0	0	0	
その他	126,000		126,000	116,459	9,541	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他（ ）			0	0	0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記）	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
支出合計	31,546,000	0	31,546,000	24,223,109	7,322,891	
差引	0	0	0	5,268,677	△ 5,268,677	

自主事業費収入	61,236		61,236	85,986	△ 24,750	自主事業への参加料等
自主事業費支出	996,000		996,000	490,211	505,789	自主事業経費
自主事業収支	△ 934,764		△ 934,764	△ 404,225	△ 530,539	

管理許可・目的外使用許可収入			0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出			0	0	0	使用料（横浜市への支払等）
管理許可・目的外使用許可収支	0	0	0	0	0	

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市芹が谷地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
芹カアップ教室	概ね60歳以上	470925	地活	140079	293600				470925
	12名		包括	37246					
	¥200		生活						
ドレミファクラブ	概ね60歳以上	120000	地活	68300	51700		120000		
	20名		包括						
	¥500		生活						
サタデーモーニングカフェ	どなたでも	76360	地活	23860	52500			76360	
			包括						
	¥50		生活						
未就学児の遊び場たんぽぽ	未就学児の子どもと保護者	5437	地活	5437				5437	
			包括						
	無料		生活						
春のお気軽にサイクル市	未就学児の子どもと保護者	471	地活	471				471	
			包括						
	0		生活						
永谷地区センター祭り	どなたでも	6203	地活	120	6050			6203	
			包括	33					
	¥50		生活						
カエルひろば	障がい児と保護者	33411	地活	31911	1500		33411		
	10名		包括						
	¥500		生活						
誰でもヨガ	40歳以上	41680	地活	32928			41680		
	30名		包括	8752					
	0		生活						
芹が谷ステーション	小学校低学年と保護者	10676	地活	10676				10676	
			包括						
	0		生活						
年末大掃除	ケアプラザ利用団体	8248	地活	8248				8248	
			包括						
	0		生活						
芹が谷地域ケアプラザ祭り	どなたでも	53206	地活	20540	27206			53206	
			包括	5460					
			生活						
芹が谷地区認知症サポート養成講座	どなたでも	3249	地活	3249				3249	
	60名		包括						
	0		生活						

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市芹が谷地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
親子リトミック	2歳児と保護者	27842	地活	2842	25000		27842		
	10組		包括						
	500/1回		生活						
芹が谷地域ケアプラザ 団体発表会	どなたでも	5478	地活	5478				5478	
			包括						
			生活						
団体交流会	ケアプラザ利用団体	6365	地活	6365				6365	
			包括						
			生活						
みんなのいこい場	どなたでも	6032	地活	4732	1300			6032	
	15組		包括						
			生活						
芹が谷健康フェスタ	どなたでも	32274	地活	25498			32274		
			包括	6776					
			生活						
ひまわりホルダー	65歳以上	0	地活						
			包括	17600					
	¥300		生活						

平成30年度 自主事業報告書

横浜市芹が谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
サタデーモーニングカフェ	開所当初から要望が寄せられている地域の方の気楽な居場所です。 内容は、毎週土曜日の朝9:30~11:30に開催しています。気楽に参加いただけるよう、コーヒーやお茶を楽しみながら音楽を楽しんだり、おしゃべりを楽しんだりできる場をボランティアと相談/工夫し実施しました。 また、貸館団体の発表の場としても活用し、フラダンスの披露などを行いました。 また、通年で障害を持った方がボランティアとして活躍出来ました。活動を通じて、誰でも参加できるカフェとして定着出来ています。	39回/1217人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
未就学児の遊び場たんぼぼ	子育て中の親子が安心して過ごせる場を定期開催することで、「この日ケアプラザにいけば、遊び場がある」「この日行けば相談できる」という安心感と、居場所としての定着を目指します。 また、定期的なアンケートや直接ヒアリングを行い、ニーズ調査を行い、「親子リトミック」を開催しました。 また、孤立していたり、問題を抱えている父母には包括と連携して、適切な支援に繋がられる様、早期対応に努めました。	46回/379人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ドレミファクラブ	体を動かし、歌を歌ったり、楽器を演奏するなどプログラムを通じて、自主的な介護予防を行います。 打楽器等を使って頭と体を使った認知症予防プログラムや、誰でも楽しめる発語療法を1.5Hの内容で行っています。	12回/140人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康囲碁	貸館団体が主体となったケアプラザとの共催事業です。 団体と地域とのかかわる機会を提供し、特にひきこもりがちな男性の地域に出るきっかけとして活用します。 また、子ども達の参加を促し、世代間交流が出来る場としても活用します。 準備から指導等、貸館団体が主体的に実施しており、徐々に地域の方の参加が増加しています。回数を重ねるにつれ、職員との交流も進みケアプラザの理解が得られ、様々なボランティア活動の担い手として活躍しています。囲碁に興味のある小学生が参加しており、少しずつ、多世代交流に繋がっています。	27回/319人

平成30年度 自主事業報告書

横浜市芹が谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
芹が谷ステーション	<p>子育て中の男性にケアプラザを知っていただくきっかけとして開催します。</p> <p>また、参加者同士の交流を通じてパパの繋がりを目指します。毎月第3日曜日、9：30～11：30の時間に開催しました。</p> <p>多目的ホールを広く使ってプラレールで親子で遊びました。子ども達が夢中で遊べる環境が整えられたことで、親同士の交流も進みました。</p> <p>事業を通じて、参加者とのコミュニケーションを図り、新たなニーズ把握を進めています。</p>	10回/103人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
「ほっ」と	<p>介護をされている方が、孤立し問題を抱え込んでしまわないよう、同じ立場の人同士の交流の場として提供します。</p> <p>また、互いに傾聴する（ピアカウンセリング）事で、安心できる場所づくりを目指します。</p> <p>定期的に勉強会方式を取り入れ、介護をしている中で、困ったことの解決につなげます。</p> <p>毎月第3火曜日に実施し、「しゃべり場」と各種「講座」の交互に行っています。</p> <p>介護者のピアカウンセリングの他、ケアマネジャーによる介護保険サービスの勉強会を行う事で、専門的なアドバイスを通じて、介護負担軽減に努めました。</p>	11回/24人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
町のお医者さんと語ろう茶話会/講演会	<p>協力医による講演会、茶話会を第3水曜日に開催します。</p> <p>季節に流行する病気やその予防等を学ぶ機会として気軽に相談できる場を目指します。</p> <p>茶話会では、日頃聞けない病気のことや体調管理の事等、協力医が積極的に輪に入っていた事で、気軽に相談できる茶話会になりました。</p> <p>多目的ホールを使用して、講演会を開催しました。地域住民からよく相談がある「不整脈」・「脳卒中」について病気に対する理解、予防、また、かかりつけ医をもつことの重要性を周知する事が出来ました。</p>	6回/84人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
芹力アップ教室	<p>介護予防を目的としたパワーリハビリを用いた運動プログラムです。</p> <p>運動の場としてだけでなく、仲間作り・居場所、地域に出るきっかけとして開催します。</p> <p>法人の人材活用の一環でPTによるパワーリハビリの講話を行い、より専門的な助言を行いました。</p> <p>卒業クラスは、代表を中心に、定期的な活動に繋がっており、健康作り・生き甲斐づくりの場になっています。</p> <p>また、新たな卒業生の受け皿にもなり、新たな仲間作りのきっかけにもなっています。</p>	280回/1499人

平成30年度 自主事業報告書

横浜市芹が谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
春のお気軽リユース市	未就学児の遊び場たんぼぼの周知とリユースを通じた繋がりが目的です。 第一子はもちろん第二子以降の方にも来館していただけるように、保護者同士、縦の繋がり（先輩ママ）作りを促し、互いに相談し合える関係の構築を目指します。使わなくなった洋服や本、玩具などをリユース品として出品していただき、使いたい人へ繋げました。 使いたい人へ渡る事で、保護者同士の関係づくりのきっかけになっており、先輩ママから子育てのアドバイスや、洋服選びのポイント等を伝え、繋がりが出来ました。	1回/63人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
行政書士相談会	成年後見制度や遺言、相続などに関する相談会を通し、ニーズの掘り起こしと権利擁護の啓発を行います。 また、専門組織と共催することで、ネットワークを強化を目指します。 一般社団法人コスモス成年後見サポートセンターと連携し、行政書士による個別相談会を開催しました。 支援の必要なケースについては、包括と行政書士とで情報共有、連携し、継続な支援に繋げました。	3回/19人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子リトミック	子育て世代へのケアプラザ周知、育児中の保護者が地域で孤立・不安を解消できる場を目的とし開催します。 また、事業終了後も繋がりを継続できるよう支援します。 全5回コースで9月～10月に開催し、10組の参加がありました。 子どもの年齢を2歳児に限定して募集した事で、同じ年齢の子供と母親が集まることにより、同じ悩みや子どもの成長を互いに相談し、共感できる関係づくりを進めました。	5回/108人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症の人との接し方	今後、ますます増加が見込まれる認知症の方との接し方を具体的に学び、近所のささえあい、地域のささえあいについて考えます。 認知症予防の必要性について学び、日頃からの認知症予防に繋げることと、法人内連携を活かし、認知症認定看護師に講演を依頼、病気の理解と生活場面での声掛けを学ぶ機会を設けました。	1回/22人

平成30年度 自主事業報告書

横浜市芹が谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
芹が谷地区 認知症サポーター 養成講座	芹が谷ひまわりプランのテーマ3「地域全体で認知症の理解を深めます」のテーマに沿って地域の方が主体的に開催します。ふれあい会館と芹が谷ケアプラザにて開催しました。ケアプラザの周知を併せて行いました。包括支援センター職員から、具体的な事例を通じて講座を行った事で、自分事として考えられたと感想をいただきました。	2回/34人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
永谷地区セン ター祭り	ケアプラザを知っていただく事、普段ケアプラザの利用が少ない世代（子ども、子育て中の方など）への周知を行います。割り箸鉄砲を用いた的当てを実施しました。未就学児から小学生を中心に約100組の参加いただき、普段利用の少ない世代へのアピールとなりました。	1回/100人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うつ病とその理 解について	精神科の病気について偏見や差別が無いように理解を深める事を目的とします。また芹が谷地域ケアプラザと県立精神医療センターの顔の見える関係構築と、精神医療センターの周知を併せて行います。県立精神医療センター地域医療連携室Nsが講師となり開催しました。芹が谷の一般の参加以外にも民生委員やケアマネジャー、当事者の参加がありました。県立精神医療センターの周知だけでなく、ケアプラザと精神医療センターの関係構築できました。	1回/42人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
消費者予防講座 ～消費者被害の 傾向と予防～	地域で振り込め詐欺や悪質商法の被害が後を絶たない状態だったため、その対策として、地域の方たちにその手口を知り、消費者保護の資源を知ってもらい予防を目的としました。横浜市消費生活総合センターの相談員を講師にお呼びし、最近の消費者被害の傾向と消費者保護の資源を知ってもらう講座を行いました。	1回/13人

平成30年度 自主事業報告書

横浜市芹が谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
カエルひろば	放課後の親子の居場所づくりとして開催。 発達気になるお子さんを主な対象とし、親子で参加する事で、互いの繋がりや安心して過ごせる場の提供を目指します。日頃から子育て講座を開催している方を講師としてお招きし、リトミックを中心としたプログラムを行いました。 親子で参加できるプログラムを用意し、子供の成長を一緒に感じていただけるよう工夫しました。 また、終了後に保護者同士で話せる場を提供し横の繋がり作りを進めました。	6回/26人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
秋のお気軽リサイクル市	春と同様、未就学児の遊び場たんぼぼの周知とリユースを通じた繋がり作りが目的です。 第一子はもちろん第二子以降の方にも来館していただけるように、保護者同士、縦の繋がり（先輩ママ）作りを促し、互いに相談し合える関係の構築を目指します。使わなくなった洋服や本、玩具などをリユース品として出品していただき、使いたい人へ繋げました。 使いたい人へ渡す事で、保護者同士の関係づくりのきっかけになっており、先輩ママから子育てのアドバイスや、洋服選びのポイント等を伝え、繋がりが出来ました。	1回/41人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
団体発表会	芹が谷地域ケアプラザを日頃利用している団体の発表の場として開催します。 発表する機会を提供することにより、日ごろの活動に対してやりがいを持っていただくこと、他団体との交流のきっかけとして活用します。フラダンスやコーラスなどのステージ発表の他、絵画などの手作りの作品展示ブースを設け、多くの方に観覧していただけるよう工夫しました。 今年度から、団体毎に司会・進行を行い、自分達の発表会として意識づける事が出来ました。	1回164人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
団体交流会	芹が谷ケアプラザ利用団体同士、顔合わせて情報交換する事で、お互いの活動を知り、繋がりを持つきっかけにしてください。 また、包括支援センターなどの機能紹介を通じて、より使いやすいケアプラザとして周知します。 参加者同士で7グループに分かれ参加頂き、交流できるよう工夫しました。 ケアプラザの役割の説明の他、包括支援センターについて、年末年始の開館予定や、災害時の対応について周知しました。	1回/37人

平成30年度 自主事業報告書

横浜市芹が谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
年末大掃除	日頃貸館利用している団体が、ケアプラザを自分達の活動場所と自覚して頂くため、ボランティア活動の一環として実施する事で、自分達に出来るボランティア活動を考えるきっかけとします。 主に、日ごろ使っている部屋を中心に大掃除を開催しました。 同じ部屋を利用している団体同士で清掃の担当を分けた事で、互いに知りあうきっかけにもなり、新たな関係が生まれました。	1回/45人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
芹が谷地域ケアプラザ祭り	地域の方々にケアプラザを知っていただく、利用していただくきっかけとして、広く周知をします。 また、日頃、利用している貸館団体の活動の場、ボランティア活動の場として活用します。 未就学児を対象としたミニSL試乗会、子育て支援団体を招いての室内遊び、ラムネ、ホットドッグの販売など、子ども達が参加しやすいプログラムを実施しました。親子、祖父母とお孫さんなど様々な世代の参加があり、初めてケアプラザに来られた方も多く、周知に繋がりました。 芹が谷連合、永谷連合にも協力頂き、改めて良い関係を築くことが出来ました。	2回/169人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
芹が谷健康フェスタ	ケアプラザの普及啓発を目的に、法人の人材活用を進め、認定看護師による講演会や福祉用具の展示会を行いました。元気なうちから医療や福祉の情報を得ると共に、ケアプラザを知っていただき、定期的な活用に繋がりました。	1回/56人

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなのいこい場	だれでも参加しやすい居場所として開催します。 同日にそよ風のパン販売を実施し、日頃ケアプラザをご利用いただいている方への周知としても活用します。 スティックのお茶やコーヒー等をセルフ式で提供しました。 一人で来館された方にも過ごしやすいよう、傾聴ボランティアを配置し対応しました。(シニアボランティアポイントを活用) 初めて来館された方も同じテーブルで話している様子も伺えています。 今後も誰もが参加しやすい雰囲気づくりをボランティアと一緒に検討します。	4回/21人

平成30年度 自主事業報告書

横浜市芹が谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
暮らしに備える制度を学ぶ	地域の方たちに成年後見制度、遺産相続制度を周知し、権利擁護に繋げる目的として開催しました。行政書士を講師に招いて、一般の方にも分かりやすく、説明していただきました。	1回/5人